

## スプリンクラーの補助制度- 西日本防災システム

2013 10 29

10月29日厚生労働省は、福岡市の整形外科で10人のかたが亡くなった火災を受けて、スプリンクラーを設置する医療機関への補助制度を創設する方向で検討を始めたようです。再発防止策を議論するため、総務省消防庁が設ける有識者会議の審議内容などを踏まえて補助内容を詰めてゆくそうです。早ければ2013年度補正予算で対応する方向のようです。

福岡市の整形外科での火災は、初期消火や通報の遅れなどが原因で、10人が亡くなり、5人が負傷する大惨事となってしまいました。現在の基準では、ベッド数が19床以下の診療所は、延べ床面積が6000㎡以上でスプリンクラーの設置が義務付けられています。ですが、このたびの惨事となった診療所は、約720㎡で対象外となり、設置されていませんでした。

スプリンクラーを整備する病院や診療所に対しては、独立行政法人福祉医療機構が融資制度を設けていますが、国による補助制度はありません。診療所の中には経営状況が大変厳しいところもあって、防火対策を進めるためには、かなりの財政支援が必要となるのではないのでしょうか。

認知症高齢者が入居するグループホームや障害者施設では このように ➡



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ ➡